

## 令和 7 年度 地域連携推進会議 議事録

|      |                                                                     |
|------|---------------------------------------------------------------------|
| 開催日時 | 令和 7 年 12 月 12 日（金） 10:00～11:00                                     |
| 開催場所 | B a n d e 桜 会議室                                                     |
| 参加者  | ・利用者 B 様<br>・利用者 Y 様の保護者<br>・板東地区自治振興会 会長（地域の関係者）<br>・Bande 桜職員 7 名 |

### 1, Bande 桜 園長あいさつ

- ・地域連携推進会議についての説明
- ・参加者紹介

### 2, Bande 桜の運営、活動内容紹介

- ・資料映像で Bande 桜の日課を紹介
- ・資料映像でサークル活動等を紹介
- ・自治会活動の紹介
- ・令和 6 年度の決算書を基に経営状況を報告
- ・資料映像で災害対策を報告
- ・苦情の受付、解決状況を報告

### 3, 委員からの意見

#### <Y 様保護者>

子供たちに対する取り組みや活動内容を子供たちの身になって考えていただき大変ありがたい。

昔、手をつなぐ育成会の会長をされており、そのとき施設はほとんど山奥にあり町の中心部には無かったが、だんだんと地域の人との関わりを持って共に生きていこうという気運ができ Bande 桜も町中に作ることができた。住民との関わりというのは、非常に素晴らしい発見を届けてきたんじゃないかと思う。障がい者を持つ親としては大

麻町民の理解はありがたい。地域でご理解をいただくというのを、強制的にではなく自然の形で大麻町ができてきているというのは県内でも見本になるんじゃないか。

地域とのつながりという意味では草の実まつりがあるが、昔に比べたらだんだん縮小されてきている。職員の方の就労の時間とかいろんな関係あるかと思うんですけど引き続き続けていっていただきたい。Bande 桜もばんでマルシェを実施しているが、地域の方がもう少しこちらにも来ていただけるような雰囲気づくりが必要。

#### <板東地区自治振興会 会長>

自治振興会が主催するグラウンドゴルフ大会とか、あすたむらんどで毎年やっている社会福祉協議会の交流ウォークとかいろんなものに、施設の人たち、職員も含めて積極的にご参加いただいているということで大麻町の人がそういう福祉の街というのを前々からずっと DNA で引き継がれている状態で理解があると感じている。

最近では小規模な事業所を求めるケースもある。例えば空き家とか今使われていないものを活用した小さい事業所とか、そういうリクエストが現実にあるということで私もそういうふうな福祉の人たちの声も反映した市街化調整区域の中の住宅でそういう施設が可能になるような特例の特区を設けたいという要望もしている。これからいろんな形で利用者をサポートできる体制を地域とともに一緒にやっていけたらなと考えている。

防災面についても、今年発表された新しい災害のマップで、この板東地区は全く南からの津波の恐れもなくなったので、唯一南海、東南海とか津波については全く問題ないエリアになった。今年6月から鳴門市自主防災会の会長になったので、これからは福祉の避難施設についても一緒に防災訓練等の中できちっと災害に対応ができるような取り組みも進めていこうと考えている。

また健常者の皆さん方と障害者の皆さん方とで一緒に作っていく街づくりが、これからこの地域が発展するのか発展しないかという瀬戸際になってくると考えており、鳴門市長にも十分ご理解をいただいている。これから令和9年度には板東地区と堀江地区が鳴門市に合併してから60年という節目の時を迎え、板東俘虜収容所が開所110年目を迎える。令和9年度は転換期になってくると考えており、今後とも情報開示をしながら、お互いに協調しながら一緒にやっていけるような街づくりを目指したいと思うので、ご協力を願いたい。

#### 4. 施設見学